

○ 地域医療構想を踏まえた各医療機関の役割に関する調査

| | |
|-----------|--|
| 病院名 | |
| 記入者 | |
| 連絡先(電話番号) | |

1. 平成29年7月1日現在の医療機能
病床数・病棟数(4機能ごとに記載)

| 高度急性期 | 急性期 | 回復期 | 慢性期 |
|-------|------|------|------|
| 床 | 床 | 床 | 床 |
| (病棟) | (病棟) | (病棟) | (病棟) |

2. 病床機能の転換について

(1)前年(H28)からの変更
前年からの変更 (1. 有 2. 無)

↓ 有の場合

変更時期 年 月 日

前年の医療機能(H28.7.1現在)

| 高度急性期 | 急性期 | 回復期 | 慢性期 |
|-------|------|------|------|
| 床 | 床 | 床 | 床 |
| (病棟) | (病棟) | (病棟) | (病棟) |

理由を記載

(2)6年後の転換予定
6年後の転換予定の有無 (1. 有 2. 無)

↓ 有の場合

変更予定時期 年 月 未定

6年後の医療機能

| 高度急性期 | 急性期 | 回復期 | 慢性期 |
|-------|------|------|------|
| 床 | 床 | 床 | 床 |
| (病棟) | (病棟) | (病棟) | (病棟) |

理由を記載

3. 非稼働病床について

非稼働病床の有無 (1. 有 2. 無)

↓ 有の場合

理由を記載

稼働予定時期 年 月 未定

| 過去3年間の病床利用率 | 施設全体 | うち一般 | うち療養 |
|------------------|------|------|------|
| (一般及び療養病床のみ) H26 | % | % | % |
| H27 | % | % | % |
| H28 | % | % | % |

4. 構想区域内で不足すると予想される回復期病床が確保できない場合に、回復期機能を一層担う考え

回復期病床への転換 (1. 有 2. 無 3. 未定)

5. 地域医療構想を踏まえた今後の役割

策定済み(新公立病院改革プランを策定し、変更ない場合は☑)

今後の役割

※ 公的医療機関等2025プラン作成対象の医療機関においては、現時点の医療機関の方向性をご記入ください。

※設問4、5については、「救急医療等を担う中心的な医療機関」のみ追加

締切りは12月頃を予定しています。詳細については、別途通知させていただきます。

<東三河南部構想区域>

○新公立病院改革プラン(地域医療構想関係部分抜粋)

・豊橋市民病院

本院は、救命救急センター・総合周産期母子医療センター等を有する東三河の中核病院として、地域完結型医療の一翼を担い、高度急性期及び急性期医療の機能を果たすことが本院の役割であると考えています。そのためには、地域の医療機関からの紹介患者や救急患者を積極的に受け入れるとともに、退院困難な要因を有する患者には、入院早期から積極的に介入し、退院後に住み慣れた地域で安心して療養や生活が継続できるよう支援を行うなど、地域医療機関及び福祉介護関係機関との一層の機能分担・連携が大変重要となります。

これまで、がん患者等に対して、身近な地域の医療機関での治療・療養が受けられるよう地域連携パスを拡充するとともに、医師が不足する地域に対して小児科医などの派遣を行ってまいりましたが、今後も、地域医療支援病院として、医療スタッフの確保や高度専門医療の充実を図り、診療機能の強化に努めていきます。

・豊川市民病院

当院は、主に高度急性期・急性期機能を担いつつ、一部回復期機能を備えることで同医療圏における役割を果たしていくことを目指すものとし、5疾病5事業(5疾病:がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患、5事業:救急医療・災害時医療・へき地医療・周産期医療・小児医療)に対しても、取り組んでいくものとしします。

・蒲郡市民病院

当院の医療機能は、引き続き急性期医療に軸足を置きつつも、全体として比重の高まった地域包括ケア病棟の機能・役割を十分に活用した「治し支える医療」の提供を行っていく必要がある。これは、2025年問題に備えて制定された「医療介護総合確保推進法」に対応(①高度急性期から在宅医療まで、患者の状態に応じた適切な医療を、地域において効果的かつ効率的に提供する体制を整備、②患者ができるだけ早く社会に復帰し、地域での継続的な生活)するものである。